

ラオス

主要データ

国名〔英名〕	ラオス人民民主共和国〔Lao People's Democratic Republic〕
面積(km ²)	236,800
海岸線延長(km)	—
人口(百万人)	6.4
人口密度(人/km ²)	27.0
GDP(百万US\$)	5,598
一人当りGDP(US\$)	878
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛
主要鉱産物：地金	銅
鉱業管轄官庁	エネルギー鉱山省鉱山局、地質局 (Ministry of Energy of Mines, Department of Mines, Department of Geology)
鉱業関連政府機関	計画投資省投資促進局 (Ministry of Planning and Investment, Investment Promotion Department) 工業・手工業省 (Ministry of Industry and Handicrafts)
鉱業法	鉱業法 (1997年4月施行)
ロイヤルティ	利潤税、個人所得税、物品税、資源税、関税等
外資法	外国投資奨励管理法
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境保護法 (1997年4月施行)
鉱業公社	—
鉱業活動中の民間企業	Minmetals Corp.、Panaust Ltd、Amanta Resources Ltd.
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	中小企業による乱開発による環境への悪影響等を受け、鉱業法の改正を行った
2009年のトピックス	新鉱業法案が2008年11~12月の国会で採択され、2009年12月に公布された。ラオス政府が英文訳を策定中

1. 鉱業一般概況

- ・ 2008年4月、ラオス2番目の銅鉱山として Phu Kham 鉱山が銅精鉱の生産を開始しており、2009年はその生産量を伸ばしている。同鉱山は、2005年に上部の酸化鉱石を対象に金山 (Heap Leach) として開発され、キャッシュフローを確保しながら下部銅金鉱床の開発を行い、銅精鉱の生産に至ったもの。
- ・ ラオス最初の銅鉱山である Sepon 鉱山にとって、2008~2009年は激動の年であった。90%の権益を保有していた豪州企業 Oxiana 社は、2008年7月に同じく豪州の Zinifex 社と合併し、OZ Minerals

社(本社：豪 Melbourne)となった。しかし、リーマンショックに端を発した金融危機により同社の資金繰りが急速に悪化したため、Sepon 鉱山を含む同社資産の大半を、2009年6月、中国五鉱集団 (China Minmetals Corp)に売却。このため、Sepon 鉱山運営会社は、MMG LXML Sepon 社に社名変更した。

- ・ 双日(株)は2009年10月、日鉄鉱業(株)と共同で首都 Viang Chan 西約 100km に位置する Moune 地区(ムン、約 226km²)の銅鉱床探鉱権を取得したと発表、現在探鉱活動継続中である。日本企業による同国での銅鉱床探鉱権の取得は初めてのことである。
- ・ 三井物産(株)は2010年8月、Rio Tinto と共同で会社を設立(三井物産 30%、Rio Tinto 70%)し、ラオス南部 Attapeu 県と Sekong 県にまたがる地域でボーキサイトの探査を開始したと発表した。5年間の探査権が2008年12月に両社に与えられており、探査は2010年2月に開始、この度共同会社も設立したというもの。探査地域は 484 km²におよび、約 7 億円の探査費を投入する計画としている。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 新鉱業法

新鉱業法案が2008年11～12月の国会で採択され、2009年12月に公布された。ラオス政府が英文訳を策定中。

(2) 新投資法

2009年7月、外国からの投資手続きを簡素化して門戸を一層広げると共に、国内及び外国投資を平等に扱うため、従来の外国投資奨励法及び国内投資奨励法を改正し、統一投資奨励法を国会で採択した。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 3-1. ラオス：金属鉱石生産量

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比 (%)
銅(千 t)	62.5	89.0	121.6	36.6
亜鉛(千 t)	3.0	2.2	3.3	50.0
錫(千 t)	0.7	0.7	0.3	-57.1
金(t)	4.2	4.3	5.0	16.3

(出典：WMSY 2010)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3-2. ラオス：金属地金生産量

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比 (%)
銅(千 t)	62.5	64.1	67.6	5.5

(出典：WMSY 2010)

(3) 主要非鉄金属輸出力

表 3-3. ラオス：精鉱、地金等輸出力（マテリアル量）

鉱種	2006 年	2007 年	2008 年	2008 年 増減比 (%)	主な輸出相手国 (3 か国程度)	備考
銅鉱(千 t)	0.7	10.8	—	—		
錫鉱(t)	376.0	400.0	—	—		含有率 68%
錫鉱(t)	280.0	200.0	—	—		含有率 20%
金・銀(t)	12.4	12.0	—	—		
精製銅(千 t)	60.8	60.0	—	—		

(出典：エネルギー鉱山省)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	生産量	備考
Sepon 鉱山	China Minmetals Corp : 90% Government of Laos : 10%	銅 (SxEw カソード) 金 銀	64,075t 93,072oz (2,895kg) 55,942oz (1,740kg)	・ 2008 年生産実績 ・ 2009 年 6 月、OZ Minerals Ltd から China Minmetals Corp へ権益移転
Phu Kham Copper-Gold 鉱 山	Panaust Ltd : 90% Government of Laos : 10%	銅 (精鉱中含量) 金 (精鉱中含量) 銀 (精鉱中含量)	54,019t 43,099oz (1,341kg) 440,306oz (13,695kg)	・ 2009 年生産実績
Phu Kham Gold Heap Leach 鉱山		金	13,660oz (425kg)	・ 2009 年生産実績

- ・ ラオスの主要鉱山は、Sepon 鉱山及び Phu Kham 鉱山である。
- ・ Sepon 鉱山は、2002 年に豪州資本の Oxiana 社により金山として開発され、2005 年に SxEw による銅カソード生産も開始された。鉱山所有者は、Oxiana 社→OZ Minerals 社→China Minmetals Corp と変遷している。
- ・ Phu Kham 鉱山は、2005 年に豪州資本の Panaust 社により金山 (Heap Leach) として開発され、2008 年 4 月に銅の生産も開始されている。



図1. ラオスの主な鉱山

5. 我が国との関係

(1) 双日(株)は2009年10月、日鉄鉱業(株)と共同で首都Vieng Chan西約100kmに位置するMoune地区(ムン、約226km²)の銅鉱床探鉱権を取得したと発表、現在探鉱活動継続中である。日本企業による同国での銅鉱床探鉱権の取得は初めてのことである。

(2) 三井物産(株)は2010年8月、Rio Tintoと共同で会社を設立(三井物産30%、Rio Tinto70%)し、ラオス南部Attapeu県とSekong県にまたがる地域でボーキサイトの探査を開始したと発表した。5年間の探査権が2008年12月に両社に与えられており、探査は2010年2月に開始、この度共同会社も設立したというもの。探査地域は484 km²におよび、約7億円の探査費を投入する計画としている。

(3) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が、カナダ企業Amanta Resources Ltd.の現地子会社がLuang Nam Tha州において保有する鉱区で、2009年5月から同社との銅の共同探鉱を実施中。

6. その他トピックス

特になし

(ジャカルタ事務所 小岩孝二)